

あたご棟

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	10	
理念に基づく運営	1 理念の共有	1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	2	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	認知症の方が住み慣れた地域の中でともに命をい つくしみ、人間らしく、自立した生活を安全に営 むことができるよう心をこめて支援いたします	0	
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んで いる	玄関に理念を掲示し、職員間で理念を共有してい る	1	ミーティングや勉強会の機会を利用して理念の再 確認を行い意識付けを徹底していく
	3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念 を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関に理念を掲示し、ご家族や地域の方が来訪さ れた時に見てもらえるようにしている。ご家族や 利用者には契約時に理念の説明をしている	1	地域の方には地域運営推進会議や勉強会の機会等 に理念の説明をし理解を深めてもらえるように努 める	
	2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		自己評価3項目・外部評価1項目	2	
	2 地域との 支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立 ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常の散歩の時等挨拶をしている。勉強会の時に 地域の方に声をかけて参加を呼びかけたりしてい る	1	当施設の事をもっと理解して頂き、近隣の方が気 軽に立ち寄れる雰囲気作りを検討していく
5 外部評価3		地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行 事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に入り回覧板を回したり、地域のゴミ拾い に利用者と一緒に参加したりしている。隣接する 保育園とは芋掘りやお遊戯会等の行事を通して交 流を深めている。地域運営推進会議の時に地域の 代表の方々に日頃からの交流を働きかけている。 地域フェスタに参加している	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合と いの	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	介護相談があれば応じている。地域運営推進会議の時に地域の高齢者の情報等を聞き地域の代表の方達や地域包括支援センターの方と意見交換をしている	1	地域の高齢者についての情報を得る中でできる事があれば対応を職員間で検討していく
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	4	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の結果を全職員に回覧し、2ヶ月1度の地域運営推進会議は確実に実行改善に努めている。また、自己管理ができる利用者には自由にお金が使えるように改善した。自治会に参加し地域との交流に努めている	1	ミーティングの機会等を利用して改善できる点をもっとないか職員間で検討し、あれば順次対応していく
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回2ヶ月分のホームの活動報告を行っており、ご家族や地域の代表の方の意見を聞いている	1	もっとご家族の参加を増やし意見交換を活発に行えるようにし、業務に活かしていく
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域のサービス事業所と連携をとるため、情報を聞きに行ったりしている。		
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員が外部研修に参加して学ぶ機会を持つ事ができている。入居時にご家族や利用者に説明しており、希望しているご家族に対しては活用できるように支援した	1	勉強会や外部研修に参加して職員の理解を深める
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員が外部研修に参加して学ぶ機会を持つ事ができている。虐待の事実はないが常に虐待を見過ごす事のないように注意を払っている	1	勉強会や外部研修に参加して職員の理解を深める

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	4 理念を実践するための体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	施設課長が対応し契約書や重要事項説明書の説明や事前の施設内見学等をしてもらい、相談や質問にも丁寧に対応している	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	全職員は業務中常に利用者の希望や要望に耳を傾け改善に努めている。ご家族の来訪時や外泊時等利用者に不満がなかったか確認している	0	
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族来訪時に報告している他、利用者の健康状態等に変化がある場合はそのつど電話連絡を必ずしている	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居時契約書や重要事項説明書の中で苦情担当職員や公的機関の苦情窓口を説明している。常時玄関に苦情箱を設置し意見・不満等を言える環境作りをしている。ご家族来訪時に意見や苦情等がないか声かけをしている	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングの時等職員の意見や提案があればそのつど検討し反映させている。また、職員の意見を聞き職員を増員する等反映している	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	受診や往診・行事の時等職員を増やす等できる事は対応している	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基 づく運 営	4 理 念 の 実 践 制 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるよ うに、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利 用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	退職時は早めの報告を促し迅速な補充を心がけ利 用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。異動は 今の所ないが、あれが事前に十分検討をする	0	
		5 人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)			自己評価6項目・外部評価4項目	2
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や 年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生 きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよ う配慮している	幅広い年齢層の職員を採用している。資格取得や 外部研修受講の希望があれば勤務を調整してで きる限り参加できるように配慮している	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するた めに、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	外部講師を招き研修会を開いている。言葉使いや 態度等は業務中に気付いた時に注意している。 ミーティングの時等意識付けをしている	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をた て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニ ングしていくことを進めている	文書にはしていないが、新人指導を職員に任せ たりし職員の教育に配慮している。研修への参加 を勧め機会を確保している。業務中も介護の方 法等指導している。正職員には面談をして上期 ・後期の業務目標を立てさせ実現に向けて取 り組ませる等育成に努めている	1	育成する為の計画を立て文章にまとめる
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、 ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービ スの質を向上させていく取り組みをしている	分からないことがあれば、近隣の同業者に相談 する等相互訪問等の活動を行っている。	1	地域の同業者と交流する機会をもっと増やしてい く
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境 づくりに取り組んでいる	忘年会・ビールパーティーを催して親睦を深めて いる。日頃から職員とのコミュニケーションに努 め相談や悩み等に耳を傾けるようにしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年に2回業務目標設定時十分な面談時間をとり、各職員の能力に応じた目標を設定し、取り組めるようにしている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10項目・外部評価 2項目	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1	相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価 4項目・外部評価 1項目	0	
	1	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前には必ずご本人とも面談の機会を設け、お話することで、ご本人の心身の状況等を理解把握することに努めている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	施設見学时や入居相談時には十分な面談時間をとり、ゆっくり話を聞くようにしている。又介護で頑張ってきたことに、必ずねぎらいの言葉かけをするように心がけている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	施設の見学に来たものの「介護保険のことがよくわからない。施設が良いのか在宅が良いのか迷っている。」と相談も多く、介護保険利用についての説明を行い、必要に応じて居宅ケアマネージャーさんへの相談に繋いでいる。	0	
		28	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に施設内の見学をしてもらったり、施設に慣れるまでご家族に頻回に来訪してもらったりしている。グループホームへの入居前にデイサービスを利用してもらう等して少しずつ馴染めるように工夫している	0	
		2	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価 6項目・外部評価 1項目	0
	係り2 継続 への 支援	29	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に家事を行ったり行事を通して学んだり・支えあう関係を築いている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	地域運営推進会議や行事に参加してもらう事で関係を築いている。利用者には何か問題があればご家族に相談し共に解決に当たっている	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	契約時・入居時にお話を聞き理解した上で良い関係が築けるように支援している。ご家族に余裕があれば一緒に外出したり外泊したりしてもらい、また施設内で一緒に過ごして頂いたり、行事にはできるだけ参加してもらっている。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人の交流が途切れないように手紙や電話のやり取りを支援している	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	テ・ブルの席の配置等考慮している。職員が間に入りコミュニケーションを図る橋渡しをしている。一人ひとりが孤立しないように行事に参加してもらったり、家事を一緒にしてもらい支え合えるように努めている	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他の施設に移られた後も、訪問する等して利用者の状態を気にしている	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価17項目・外部評価6項目	2	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価3項目・外部評価1項目	0	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメント時やケアプランの更新時や通常の業務中に聞かれる本人の言葉等からも把握に努め何かあればすぐに報告し、ミーティングの時等職員間で検討し対応している	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にフェイスシートを活用し経過等の把握に努めている。また、入居後もご家族の来訪時等に聞き取りをし把握に努めている	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ミーティングの時等に職員間で意見を出し合い総合的に把握するように努めている	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプランを評価した際にはご家族に必ず説明をし希望や意見を聞いている。また、ミーティングで職員の意見を聞き反映させている	0	
		39	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入院や著しい状態の変化がみられる際にはご家族や職員と話し合い現状に即したケアプランを新たに作成している	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日利用者記録に記入し気づき等があれば申し送りや申し送りノートに記入したりミーティングを活用しながら情報を共有しご家族にも報告してケアプランの見直しに活かしている	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 柔軟な支援	41	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族のご希望により、関連病院より月に一回の往診を行い、健康管理を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	2	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアで演奏会をしてもらったりしている。地域運営推進会議を通して民生委員の方と何かあればすぐに協力し合える関係ができています。年2回消防と協力して避難訓練をしている	1	各利用者に合わせて文化サークルの活用等できる事があれば検討していく
	4	43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	家族の希望により、利用者のかかりつけ病院が遠方のため、ケアマネージャーと相談し、受診付き添いに訪問介護のヘルパーを利用している。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域運営推会議を通して協働している	1	権利擁護等必要性があれば地域包括支援センターに相談したりしていく
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医の方と連絡を密にし何かあれば相談して利用者及び事業所の関係を築く努力をしている。連携している病院に月に1度往診をお願いしている	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	連携病院に精神科があり、職員や利用者だけでなくご家族も相談できる体制が取れている	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	施設課長兼看護師が日常の健康管理や医療活用の支援をしている。連携病院の看護職とも相談しながら利用者の支援をしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	施設課長が病院のソーシャルワーカーや病棟の看護師と連携して行っている	0	
		49	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	常に利用者の状態について家族・医師・ソーシャルワーカーと連携し相談しながら方針を共有している	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化した利用者の対応について、施設長・施設課長・管理者・ご家族を交えて話し合い、チームとして対応困難な場合には他の施設に紹介している	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご家族の了解を得て利用者の詳しい添書を作成し情報を提供を行っている	0	
	その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	5
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	4	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	1	
		52	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉かけや対応について気になる点があれば管理者がそのつど注意して徹底している。また、ミーティングや勉強会を通して繰り返し意識付けをしている。記録等の書き方に留意し個人情報には十分気を付けている	1	更に徹底できるように業務中やミーティングの時など職員に意識付けをしていく
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	何かを強制をする事なく常に説明をし理解を得た上自己決定で行動してもらえよう心掛けている	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩や買い物等希望時には付き添ったり、食事や入浴の時間をずらしたりできる限り希望に添えるよう支援している	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	訪問理容を利用しているが、本人の希望があれば外部の美容室に行っている。また、洋服や化粧品等を買いたいとの希望があればそのつど対応している。各利用者に合わせて衣服の選択や整容等の働きかけをしている	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人の嗜好の合わせて献立を変えて対応している。また、毎食食事の調理や片付けを一緒に行っている	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒やたばこを飲む利用者が現在いないので行っていないが、以前に本人が望むお酒を用意して毎日晩酌できるように支援した実績がある	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を活用し各利用者の合わせてトイレ誘導したり、リハビリパンツやパットを状況に合わせて使用してできる限りオムツ外しを心がけている	0	
59 外部評価 26	入浴を楽しむことのできる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	各利用者の希望を聞きながら時間帯や回数入浴の順番・お湯の温度等調整して対応している	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	睡眠チェック表を活用して1日のリズムが狂わないように各利用者の状態に合わせて支援している。起床・消灯時間を特に決めておらず一人ひとりの生活習慣に合わせて支援している	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61～66・外部 27～28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎月行事を行う他日常の中で散歩や買い物・体操やお手伝い等を通して役割や楽しみを見つけられるようにできる事はしてもらいながら支援している	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には立替制をしているが、ご自分での支払いを希望された時はご家族とも相談しできるだけ希望に添うようにしている。自己管理できる利用者には好きな時に使えるように支援している	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物・ドライブ等職員の方から働きかけて日常的に行っている	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望する利用者の自宅を見に行ったり、紅葉狩りや愛宕神社の参詣やどんたく見物など、できる事は対応している。	0	
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の利用の希望があれば職員がダイヤルして支援したり、手紙を書かれた時は一緒にポストに投函しに行ったりしている	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	日中夜間問わずに訪問できるようにし、訪問時には必ず声をかける等して気軽に来れるような雰囲気作りをしている	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	3	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成し理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	0		
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ご自分で外出して帰宅できない利用者がおられる為玄関にセンサーを設置しているが、日中居間や玄関には鍵をかける事なく対応している	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は定期的に所在確認をし職員間で声かけをしあって全利用者の様子の把握に努め、夜間は1時間おきに巡視して安全に配慮している	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	各利用者の状態に合わせて対応している。同じ利用者でも状態が変化すればそのたび検討し対応している	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルがあり、全職員は各利用者の状態に合わせて留意し取り組んでいる。何かあれば報告書を作成し情報を共有して再発防止に努めている	1	事故防止に取り組んではいるが、転倒や誤薬等が発生している為事故がゼロになるように更に再発防止に努める	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルがあり、全職員は内容を把握している	1	全職員が対応できるように定期的に訓練を行っていく
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を年に2回行い、マニュアルを作成し職員は内容を把握している。また、災害時に連携病院に協力を得られるようになっている	1	地域活動や地域運営推進会議を利用し、地域の人々の協力が得られるよう働きかけをしていく
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクについては常に職員間で事前に予測して対応策を検討しご家族と相談して対応している。ベットから転落する恐れのある利用者はベットから布団に変える等対応している	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調不良があればすぐに看護師に相談し病院を受診する等対応している。また、記録に残したり申し送り等で情報を共有している	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の指示に従い服薬してもらっている。症状の変化等があれば看護師に報告し対応している	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	献立に寒天やヨーグルト等の乳製品を毎日入れる工夫をしたり体操や散歩等運動の働きかけをしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	各利用者に合わせて歯磨きの声かけをしたり職員が義歯洗浄をしてうがいを促したり支援している	0		
		79 外部評価 31	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後各利用者の食事量を記録に残している。一人ひとりの食事量に合わせて提供している。脱水を防ぐ為時間を決めて水分を出すようにしている。水分量が少ない方には水分摂取表を活用し支援している。また、利用者によっては胃ろうより栄養ゼリーや水分の注入を行っている	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルを作成し対応している。また、感染症が流行した場合等は行政の通達等そのつど掲示し全職員が把握するようにしている。連携病院より毎年インフルエンザの予防接種をしている	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生管理はマニュアルを作成している。調理用具の扱いについては台所の壁に掲示して衛生管理に努めている。また、食材も週2回は配達してもらう等して新鮮な食材を使用し国産の物を使用する等安全にも留意している	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	1	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	0	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りできるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りに花壇やプランターを設置し分かり易い看板を置く等して親しみ易い雰囲気を作っている	0		
		83 外部評価 32	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日花壇の花を飾る等している他居間やトイレの壁に季節毎の飾り等をしている。廊下に絵を飾ったりテーブルクロスをしたり工夫している。利用者に確認しながら窓のブラインドで明かりを調整したりしている	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファで自由にくつろいでもらったり、テーブルで他の利用者とお話ししたりしている	0		
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族と相談して馴染みの家具や生活用品等を持ち込んでもらえるよう働きかけをしている	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	季節やその日の天候等に合わせて温度や換気の調整をしている。冬季は加湿器等を使用して乾燥にも留意している。換気は24時間している。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	1	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内には段差はなく必要な箇所には手すりを設置したり利用者によってはすべり止めにルームシューズを利用する等し自立支援に努めている	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	混乱を防ぐ為にトイレやお風呂場にプレートを付け、各居室のドアは色分けしている	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑や花壇・プランター・和風庭園等があり活用している	1	中庭や花壇・畑に段差があり危険な為スロープや手すりの設置を検討していく	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	
サービスの成果に関する項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。